

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587026901	科目番号 / Course code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会 : 医療、災害とインフラ、環境リスク (医療現場の安全と安心) / Safety and Relief in the Health Care		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro, 田崎 修 / Tasaki Osamu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 松田 浩 / Hiroshi Matsuda, 吉田 浩二 / Yoshida Koji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro, 田崎 修 / Tasaki Osamu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 吉田 浩二 / Yoshida Koji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hashizum nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Office	熱帯医学研究所2階 小児感染症学分野222研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7764		
担当教員オフィスアワー/Office hours	hashizum nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してくだ さい)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	急速なグローバル化や災害への対策が急務とされる今日の状況において、医療現場で人々の健康に 関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、総合的に理解する。		
授業到達目標/Course goals	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら 努力をして維持することが重要であることを認識できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度、レポート、プレゼンテーション、試験 (担当者で異なる。授業の初めに連絡予定) で 評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	特になし		
キーワード/Keywords	放射線リスク、災害医療、天然毒、熱帯感染症、気候変動		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。必要に応じて参考書を紹介する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要であることを認識してほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	吉田 浩二/病院での勤務経験、高齢者支援事業（高齢者サロン等）への参画/実務経験に基づき、一般的な加齢変化とそのアセスメントについて本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/ 田崎 修/医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要であることを認識できることを目的として授業を実施する。/ 三浦 桂一郎/長崎大学病院口腔外科診療に従事/院口腔外科診療における実務経験に基づき、医療、介護、福祉に関わるトピックスと現場における課題を取り上げ、人間の安心・安全とは何かを学修し、医療や介護現場における安心安全の内容とその背景を知識として習得し、諸問題への対応力を醸成する。/ 松本 武浩/医療情報を用いた地域医療の医師としての幅広い実務経験を有している。/医療情報室の実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 濱野 真二郎/熱帯医学研究所において医師としての実務経験を有する。/実務経験に基づき、医療、介護、福祉に関わるトピックスと現場における課題を取り上げ、人間の安心・安全とは何かを学修し、医療や介護現場における安心安全の内容とその背景を知識として習得し、諸問題への対応力を醸成する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/11 (3)	気候変動と感染症
第2回 4/11 (4)	デング熱ってなに？
第3回 4/18 (3)	蚊と感染症
第4回 4/18 (4)	開発途上国の医療現場と感染症
第5回 4/25 (3)	救急医療の現状と課題
第6回 4/25 (4)	災害医療の現状と課題
第7回 5/9 (3)	救急医療における臓器提供と終末期医療の現状と課題
第8回 5/9 (4)	安心な災害医療・救急医療に向けて我々が取り組むべきこと
第9回 5/16 (3)	医薬品開発の歴史：くすりは毒から作られた
第10回 5/16 (4)	身近な毒と、毒を克服した生物たち
第11回 5/23 (3)	くすりと食べ物の境界はどこか（病気の予防と治療）
第12回 5/23 (4)	食とくすりの安全について考える
第13回 5/30 (3)	原子力災害後の放射線リスクと危機管理
第14回 5/30 (4)	放射線被ばくを受けた住民に対する支援活動の実際
第15回 6/6 (3)	身近に迫る放射線リスクについて

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/21		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587028501	科目番号 / Course code	05870285
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12121_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会 : 医療、災害とインフラ、環境リスク (自然災害とインフラ長寿命 化) / Natural Disaster and Maintenance of Infrastructure		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松田 浩 / Hiroshi Matsuda, 蔣 宇静 / Jiang Yujing, 山口 浩平 / Yamaguchi Kohei, 杉本 知 史 / Sugimoto Satoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松田 浩 / Hiroshi Matsuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松田 浩 / Hiroshi Matsuda, 蔣 宇静 / Jiang Yujing, 山口 浩平 / Yamaguchi Kohei, 杉本 知 史 / Sugimoto Satoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	matsuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館6階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2590		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日6時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業は、台風、水害などの自然災害におけるリスク管理と防災計画を理解するとともに、膨大な 数のインフラ構造物の劣化・老朽化状況を把握しインフラ長寿命化の意義を理解する。この授業を 通して、自然災害に遭遇した際、インフラ構造物の劣化・損傷を発見した際に、将来実社会で遭遇 しうる際に役立つ知識を修得することがてることが本授業のねらいである。		
授業到達目標/Course goals	自然災害におけるリスク管理と防災計画を理解するとともに、膨大な数のインフラ構造物の劣化・ 老朽化状況を把握しインフラ長寿命化の意義を理解する。そしてこのような事象に遭遇した際の対 処方法を習得することを到達目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート、グループプレゼンテーションの発表内容、最終試験(担当者で異なる。授業のはじめに連 絡予定)で評価する。 ?		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	長崎県、自然災害、リスク管理、防災計画、社会インフラ構造物、劣化・老朽化、インフラ長寿命 化		
教科書・教材・参考書/Materials	[自然災害と防災] 高橋裕:川と国土の危機、岩波書店、この講義についてはプリント配布(高橋) [インフラ長寿命化] なし、必要に応じてプリント配布。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	モジュールを受講していること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1	? ガイダンス [自然災害と防災] [インフラ長寿命化]	A B D
2	[自然災害と防災] ? 自然災害概論と防災の考え方（日本の自然災害の特徴と防災・減災の考え方）	A B D
3	[自然災害と防災] 特別講師：高橋和雄 ? 防災・減災のための社会システム（災害対策基本法、防災情報システム、気象警報等）	A B D
4	[自然災害と防災] 特別講師：高橋和雄 ? 地域防災計画（避難計画、ハザードマップ、自助・公助、高齢者等の避難）	A B D
5	[自然災害と防災] 特別講師：高橋和雄 ? 地震・津波・火山災害と防災対策（災害による現象・被害と防災対策）	A B D
6	[自然災害と防災] 特別講師：高橋和雄 ? 豪雨・台風・高潮災害と防災対策（災害による現象・被害と防災対策）	A B D
7	[自然災害と防災] ? 土砂災害と防災対策（斜面崩壊、地すべり、土石流、液状化）	A B D
8	[自然災害と防災] ? インフラと防災対策（モニタリング、リアルタイム防災、道路災害等）	A B D
9	[インフラ長寿命化] ? 長崎県内の橋	A B D
10	[インフラ長寿命化] ? 橋を強くさせるためには	A B D
11	[インフラ長寿命化] ? ペーパーブリッジコンテスト（強い橋を考える）	A B D
12	[インフラ長寿命化] ? ペーパーブリッジコンテスト（強い橋を作る）	A B D
13	[インフラ長寿命化] ? ペーパーブリッジコンテスト（コンテスト）	A B D
14	[インフラ長寿命化] ? 「橋は大丈夫か」「巨大都市再生への道」	A B D
15	[インフラ長寿命化] ? 「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」	A B D

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587029701	科目番号 / Course code	05870297
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12151_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会 : 医療、災害とインフラ、環境リスク (環境リスクと社会) / Environmental Risk and the Public		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 護 / Yoshida Mamoru, 馬越 孝道 / Umakoshi Koudou, 松田 浩 / Hiroshi Matsuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 護 / Yoshida Mamoru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 護 / Yoshida Mamoru, 馬越 孝道 / Umakoshi Koudou		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多教経薬水 学部生を対象		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	吉田護 yoshida-m nagasaki-u.ac.jp 馬越孝道 umakoshi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は、 を@に変更して送信してください。)		
担当教員研究室/Office	吉田護 (環433) 馬越孝道 (環218)		
担当教員TEL/Tel	吉田護 (095-819-2733) 馬越孝道 (095 819-2766)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	吉田護 (火10:00-12:00) 馬越孝道 (月12:00-14:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	自然環境リスク, 中でも地震や豪雨、火山などの自然災害リスクを対象として、私たちの地域、都市がさらされているリスクの現状について説明し、「減災」の理念やリスクへの対処法、身近な減災対策について知識を習得、学生・教員間でのコミュニケーションを図りながら認識を共有化し、その実践を図ることを狙いとする。		
授業到達目標/Course goals	1. 自然環境リスクの基礎的な情報を理解できるようになる。 2. 自然環境リスクへの対策及び対応を講じるための分野横断的な科学的知見を理解できるようになる。 3. リスクマネジメント、リスクガバナンスの基礎的な知見を習得できるようになる。 4. 自然環境リスクに関わる多様なステークホルダーを理解し、それぞれの立場の視点から、対策・対応を検討できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	火山、地震、豪雨、自然災害、リスクマネジメント、リスクガバナンス、減災		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業資料を毎回配布します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	身近な自然災害の脅威について認識を深め、適切な備えと対応行動を取れるようになりましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション 火山について学ぶ1
第2回	火山について学ぶ2
第3回	火山災害の教訓（伊豆大島，雲仙普賢岳，他）
第4回	火山災害の教訓を踏まえた討議
第5回	富士山が噴火したら，破局的噴火が起きたら
第6回	破局的噴火災害の可能性を踏まえた討議
第7回	火山災害にどう備えるか
第8回	中間試験
第9回	過去・近年の豪雨災害に学ぶ
第10回	クロスロードゲーム
第11回	災害情報と避難行動1
第12回	災害情報と避難行動2
第13回	災害リスクガバナンス
第14回	身近にできる災害対策
第15回	身近にできる災害対策の実践
第16回	期末試験